

めぐみイエス・キリスト教会

2021年4月11日(日)第Ⅱ主日礼拝
週報「通算第552号」



2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌376「いかに汚れたる」 p. 604

【交読文】 No.6 詩篇第22篇 p. 883

【賛美Ⅱ】 新聖歌127「墓の中に」 p. 178

【使徒信条】 【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.11「ラザロ」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書20章24節～29節(新約p. 228)

【礼拝説教】 《復活から一週間後の出来事》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

◎本日の聖書箇所【ヨハネの福音書20章24節～29節】

20:24 十二弟子の一人で、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

20:25 そこで、ほかの弟子たちは彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません」と言った。

20:26 八日後、弟子たちは再び家の中におり、トマスも彼らと一緒にいた。戸には鍵がかけられていたが、イエスがやって来て、彼らの真ん中に立ち、「平安があなたがたにあるように」と言われた。

20:27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

20:28 トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

20:29 イエスは彼に言われた。「あなたは私を見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」

●ポイント1. 主イエスの弟子たちに対する最初の命令とは？

※マタイの福音書26章30節～32節「ゲッセマネへの道で」 (新約p.57)

26:30 そして、彼らは賛美の歌を歌ってからオリーブ山へ出かけた。

26:31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜私につまずきます。『私は羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散らされる』と書いてあるからです。

26:32 しかし私は、よみがえった後、あなたがたより先にガリラヤへ行きます。」

※マタイの福音書28章9節～10節「女たちへの伝言から」 (新約p.64)

28:9 すると見よ、イエスが「おはよう」と言って彼女たちの前に現れた。彼女たちは近寄ってその足を抱き、イエスを拝した。

28:10 イエスは言われた。「恐れることはありません。行って、私の兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこで私に会えます。」

●ポイント2. ガリラヤのどこに行けば良いのか？

※マタイの福音書28章16節～17節「主が指示された山」 (新約p.64)

28:16 さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示された山に登った。

28:17 そしてイエスに会って礼拝した。

●ポイント3. 「見ないで信じる人たちは幸いです」とは？

※ヘブル人への手紙11章6節「信仰がなければ」 (新約p.451)

11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いて下さる方であることを、信じなければならぬのです。

※第 I ペテロ1章8節～9節「栄えに満ちた喜び」 (新約p.465下段右側)

◎先週のメッセージの概要【週の初めの日の早朝に】

《今日はイースターです。主イエスが十字架から三日目によみがえられた記念すべき日です。週の初めの日の早朝に、マグダラのマリア、ヨハンナ、ヤコブの母マリアとサロメは墓に向かいます。彼女たちは、「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていました。

しかし、この時すでに、二人の御使いが天から降りて来て、ローマ兵の見ていない前で、墓の入り口をふさいでいた石を足で蹴っ飛ばして転がしていたのです。女たちが墓に到着した時には、ローマ兵たちは逃げ出したあとでした。その場に残っていた御使いは、彼女たちに伝えます。「あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われた通り、そこでお会いできます』と。」

実は、使徒たちはゲッセマネにおいて二手に分かれたのです。主イエスのあとを、ヨハネとペテロは付いて行きます。また、主に付き従っていた女たちも同行します。しかし、残った九人の使徒は、ベタニアのマルタの家へ逃げ隠れたのです。ゼベタイの家には、マグダラのマリアが報告に向かい、そしてベタニアには、ヤコブの母マリアとヨハンナたちが向かいます。主イエスは、まず初めにマグダラのマリアに会い、次にペテロ、そしてベタニアに向かった女たちに会われます。しかし、使徒たちは、その報告を信じようともせず、たわごとのように思ったのです。それだからこそ、主イエスは、昇天される前に、集まっていた使徒たちを叱責するのです。『その後イエスは、十一人が食卓に着いている所に現れ彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。よみがえられたイエスを見た人たちの言うことを、彼らが信じなかったからである。』この事から、いかに私たちが不信仰な者であるのかを主イエスは教えておられます。主イエスは、まことによみがえられました。私たちはこの事を本当に信じているのでしょうか。》

◎お知らせ

※次回礼拝は時間を変更して、4月18日(日)午後2時より教会にて行ないます。聖書勉強会と祈り会は4月14日(水)各家庭にて行ないます。